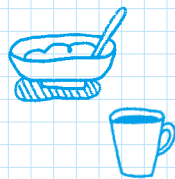




ヤングケアラーの置かれている環境



家庭内の役割

家族内での自分の役割として、自ら当然のこととしてケアを担っている

将来への不安

社会に出るための準備が満足にできない、希望する将来を諦めなければならないことがある

知識の不足

医療や介護についての知識が十分でないままケアを担っている

時間がない

勉強したり、遊んだり、自分のために時間が使えていない

行動に制限

ケアを担いながらも年齢を理由にできないことがある

健康面の不安

頑張りすぎてしまう睡眠が十分でなかったり、食事をしっかり取れていない

相談できない

周りに同じ経験をしている人がおらず、ひとりで不安を抱えている

わたしたち大人にできること…

子どもたちは、わたしたちが思う以上に家庭のこと、自分がやっていることを伝えることに慣れていません。「だれに なにを どう伝えたらいいのか…」こうした思いを持ちながら家族のケアを担っています。そっと寄り添い、いつか話せるような関係をつくってみてください。

ヤングケアラー コーディネーター 5つの活動

うけとる

ヤングケアラー支援を行う関係機関や当事者の方からの相談を受け付けています。北区子ども家庭支援センターへご連絡ください。

みまもる

つながったヤングケアラーへの支援について助言を行うとともに、訪問にも同行します。必要に応じてケース会議を開催し、情報整理や役割分担の役を担います。

知ってもらう

「ヤングケアラーとは？」
「早期把握のためには？」
「相談を受けたらどうすれば良い？」
こうした場合の対応方法など、研修会や出前講座を関係機関や区民向けに行います。

つなぐ、つながる

区内の関係機関や子ども食堂、学習支援、家事・育児支援などを行う支援者団体との連携を図り、支援ネットワークをつくります。

ともに考える

本人が望む人生を歩めるように、進学や就職、キャリア形成に関する意向を確認しながら、必要に応じた支援先につなぎます。

さまざまな状況のなかで不安を抱えているヤングケアラーがいます

活動をととしてヤングケアラーの未来を応援しています